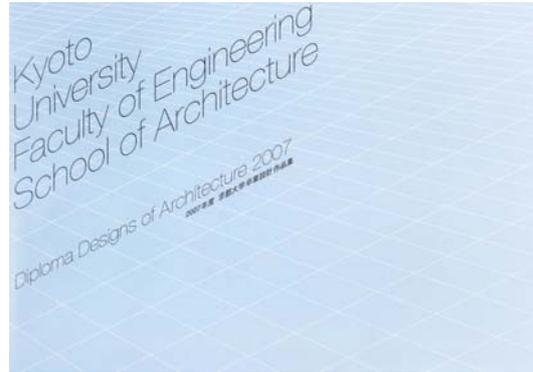


最近の京都大学建築学教室の卒業設計の状況をご覧いただくために、祝賀懇親会の会場（京都大学百周年記念館 2 階の国際交流ホール）の一角に、16 枚のパネルを展示しました。

全体報告でも述べましたように、本教室では 2006（平成 18）年度から毎年、『卒業設計作品集』を刊行しています（創刊号の刊行に当たっては、創立 85 周年記念事業における寄附金の支援を受けました。ご寄附をいただきました関係者の皆様に深くお礼を申し上げます）。卒業設計作品集は、①巻頭言、②学内の卒業設計審査会に出品された全ての卒業設計作品（武田五一賞受賞作品は 4 頁、優秀賞受賞作品は 2 頁、その他は 1 頁）、③優秀作品の選考過程、④総評、⑤建築学科における設計教育プログラム、⑥編集後記から構成されています。

近年、京都大学の卒業設計は、全国的に見てきわめて高い水準にあり、毎年仙台で開催されている「卒業設計日本一決定戦」でも、京大生は大変優秀な成績を収めています。ちなみに、2005（平成 17）年は日本二、2006（平成 18）年は日本一と最終プレゼン者、2007（平成 19）年は日本一と日本三、2008（平成 20）年は日本二と特別賞、2009（平成 21）年は最終プレゼン者選ばれています。そこで、創立 90 周年記念行事の一つとして、卒業設計作品集の中から代表的な作品を選び、パネル展示を行いました。ご覧になった皆様には、最近の本学における設計教育の現状の一端をご覧いただくことができたのではないかと考えています。



『2007 年度京都大学卒業設計作品集』表紙



卒業設計作品の例（橋本尚樹：保育園—0 歳から小学校入学までの乳児・幼児のための空間、2007 年度武田五一賞、及び卒業設計日本一決定戦における日本一を受賞）

併せて、卒業設計に至るまでの設計教育プログラムを展示しました。現在、建築学科では、1 回生前期に「建築造形実習」、後期に「設計演習基礎」、2 回生前期に「設計演習Ⅰ」、後期に「設計演習Ⅱ」、3 回生前期に「設計演習Ⅲ」、後期に「設計演習Ⅳ」、4 回生前期に「設計演習Ⅴ」、後期に「特別研究（卒業設計）」を行っています。原則として、図面と模型の展示が義務づけられており、設計・表現力を鍛えるプログラムに基づく設計教育が実践されています。

なお、「卒業設計作品展」のパネルの作成については、高取愛子、朽木順綱（平成 9）、安枝英俊（平成 9）の助教諸君に、パネル作成から展示の設営・撤去に至るまで、ご尽力をいただきました。記して感謝申し上げます。